

事業の名称： 紫草の生産者の育成と活用の取り組み

団 体 名	民谷地区振興協議会	事 業 費	226,666円
代 表 者	会長 景山 逸雄	補助金交付額	200,000円

現状と課題

- ・少子高齢化、人口減少
- ・産業構造は農業が中心で、農業生産法人が中心的な担い手だが、法人の担い手も不足
- ・農業所得確保のため「紫草」の栽培を手掛けるも、生産者の確保・育成が課題

事業の目的

- ・紫草の生産者拡大
- ・紫草をPRし、地区内外での認知度向上を図る
- ・紫草の栽培を農業所得向上へつなげる
- ・高齢者等の生きがい、やりがいづくり

実 施 内 容

◇実施状況

- 5/13：紫根染め体験教室
(東京、岡山、広島から10名参加)
- 5/18：紫根バーム作り体験教室
(市内、松江、出雲から7名参加)
- 7/26：もしってもやかす体験会/椿の灰づくり
(市内7名、会員5名参加)
- 11/2：紫草の根っこ掘り体験教室
(市内9名、会員7名参加)
- 11/23：紫根染め体験教室
(市内、出雲、広島、東京から5名参加)

【写真1】



【写真2】



◇成果と課題

・紫草を家庭菜園程度のアーチ支柱で栽培。雑草を小まめに処理したことで順調に生育したが、収穫するには根が小さかったため、2年物として栽培を継続中。

・紫根染め等に興味のある方が多く、市内外・県外から参加者があり、担い手確保の一助となった。

・各種体験活動を通じて、地区外の方と交流し関係人口の拡大を図り、この取組みに協力していただく方（担い手）を確保していきたい。